

本書 p.73 に、次の改訂がございました。  
下線部分の変更と **表4-8** の差し替えをお願い申し上げます。

下から 9～8行目	<b>旧</b> 妊娠時に診断された明らかな糖尿病は含めない。 <sup>43</sup> 妊娠中に発見される耐糖能異常の診断基準を表4-8に示す。	<b>新</b> 妊娠中の明らかな糖尿病、糖尿病合併妊娠は含めない。 <sup>43</sup> 妊娠中の耐糖能異常の診断基準を表4-8に示す。
--------------	---	---

**表4-8** 妊娠中の糖代謝異常と診断基準（2015年8月1日改訂）

妊娠糖尿病（GDM）：75gOGTT において次の基準の1点以上を満たした場合

- ①空腹時血糖値  $\geq 92\text{mg/dL}$  (5.1mmol/L)
- ②1時間値  $\geq 180\text{mg/dL}$  (10.0mmol/L)
- ③2時間値  $\geq 153\text{mg/dL}$  (8.5mmol/L)

妊娠中の明らかな糖尿病\*<sup>1</sup>：以下のいずれかを満たした場合

- ①空腹時血糖値  $\geq 126\text{mg/dL}$
- ②HbA1c 値  $\geq 6.5\%$

● 随時血糖値  $\geq 200\text{mg/dL}$  あるいは 75gOGTT で2時間値  $\geq 200\text{mg/dL}$  の場合は、妊娠中の明らかな糖尿病の存在を念頭に置き、①または②の基準を満たすかどうか確認する。<sup>\*2</sup>

糖尿病合併妊娠

- ①妊娠前にすでに診断されている糖尿病
- ②確実な糖尿病網膜症があるもの

注) \*<sup>1</sup>妊娠中の明らかな糖尿病には、妊娠前に見逃されていた糖尿病と、妊娠中の糖代謝の変化の影響を受けた糖代謝異常、および妊娠中に発症した1型糖尿病が含まれる。いずれも分娩後は診断の再確認が必要である。

\*<sup>2</sup>妊娠中、特に妊娠後期は妊娠による生理的なインスリン抵抗性の増大を反映して糖負荷後血糖値は非妊時よりも高値を示す。そのため、随時血糖値や75gOGTT 負荷後血糖値は非妊時の糖尿病診断基準をそのまま当てはめることはできない。

これらは妊娠中の基準であり、出産後は改めて非妊産時の「糖尿病の診断基準」に基づき再評価することが必要である。

資料) 日本糖尿病・妊娠学会：糖尿病と妊娠，15（1）（2015）